

香教連・各単組行事の様子、御案内

人事対策委員会開催



一月九日(土)、香川県教育会館において、第四回会長・事務局長会と第二回人事対策委員会を開催した。

会長・事務局長会では、一月から三月までの開催行事の案内や令和三年度の行事予定の検討、人事対策委員会では令和二年期末教職員人事異動に関する異動希望の集約や、地域間異動希望者についての情報交換を行った。

はじめに北村頭吾委員長の挨拶の後、三月までの活動予定について報告・提案があった。

続いて、県教委人事交渉についての要望書の検討を行った。「令和の日本型学校教育」「教職員の働き方改革」がさらに推進されていくよう、「①基礎定数での県内各小学校全学年の一年級三十五人以下学級の確実な実施、また中学校においても基礎定数での実現に向けての国への働きかけ」「②小学校での教科担任制の導入を見越した専科教員の計画的な増配置の推進」「③チーム学校の推進による学校の組織的教育力充実のための人材(スクールサポートスタッフや部活動指導員等)の増配置」「④通級指導教室の増設および中学校への拡充」「⑤人事異動に関しては、本人の意志を最大限尊重することやバランスの取れた地域間交流となるよう配慮すること」等の要望内容について検討を行った。

教職員が安心して職務に専念できる大事な要素の一つに、人事異動がある。今年度においても、本人の希望を考慮した人事となるよう、県教育委員会、各市町教育委員会等へそれぞれ要望していく。

最後に、十二月に提出いただいた香教連会員票をもとに、主に地域間異動希望がある会員についての情報交換を行った。



先生のためのマナーズランニング

ファイナンシャルプランナーからのお便り

「税金の控除制度」

給与所得の方は税金が源泉徴収されているので、自営業者や中小企業経営者などに比べて、税金への関心があまり高くないように思っています。ただ、年末調整などを通じて、税金に対する関心が高まっています。方もいらっしゃるかもしれません。

税金についての控除は様々なものがあります。いざにして自分から申請しないといけません。「こんな節税策ありませんか?」と誰か教えてくれないのです。税金を払ってない方には寄ってきませんが、自分でいい方法を教えに寄ってきませんが、自分で情報を集めて、自分から行動を起こさないと(申請しないと)税金の控除は使えないのです。



給与所得の方は税金が源泉徴収されているので、自営業者や中小企業経営者などに比べて、税金への関心があまり高くないように思っています。ただ、年末調整などを通じて、税金に対する関心が高まっています。方もいらっしゃるかもしれません。

税金についての控除は様々なものがあります。いざにして自分から申請しないといけません。「こんな節税策ありませんか?」と誰か教えてくれないのです。税金を払ってない方には寄ってきませんが、自分で情報を集めて、自分から行動を起こさないと(申請しないと)税金の控除は使えないのです。

控除制度がよく知られているのが「ふるさと納税」です。私もよく利用させていただいています。住民税が控除でき、全国のおいしい食べ物を、ただで、とても満足しています。その他にも、「生命保険料控除」「住宅ローン控除」「iDeCoを利用した控除」「医療費控除」などがあります。これらの制度を活用すると、属性にもよりますが、年収六〇〇万円の方が、年間五〇万円位の税金を軽減することも可能です。

御自身が、どの控除制度を活用できるか、ぜひファイナンシャルプランナーなどのお金の専門家にご相談ください。また私どもは、介護や年金、資産形成などの情報を、LINE公式アカウントにて発信しています。このQRコードから、ぜひ登録ください。



F P ラボ代表 伊藤祐一

令和二年度教育講演会延期のお知らせ

香川県教育文化研究所(教文研)と香川県小・中学校管理職員協議会(香管協)が共催して、令和三年二月二十日(土)に香川県教育会館ミューズホールにおいて、開催予定であった令和二年度教育講演会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期することとなりました。

御迷惑をおかけして、大変申し訳ございません。

なお、教育講演会の開催時期につきましては、今後の状況を踏まえて、香管協と相談の上、書面や香教連HPなどで、再度お知らせいたします。

昨今の現状から鑑みると、まだまだ予断を許さない状況ですが、一刻も早い終息を切に願うばかりです。

御多用のことと存じますが、くれぐれも御自愛ください。



オンラインでの教問審委員会開催

十二月八日(火)十四時より、第十八期第六回教育問題審議委員会がオンラインで開催された。香川県からは、北村頭吾香川県教育文化研究所理事長(日本教育文化研究所副理事長・香教連委員長)が出席した。はじめに島村暢之日本教文研理事長(全日教連委員長)ならびに明石要一所長(千葉敬愛短期大学学長)の挨拶の後、第十八期研究部会の研究内容や令和二年度教文研教育ウェビナー等についての報告があった。

その後、出席されている審議委員の方々や副理事長

- ①「教育創造」九八号特集
 - ②研究部会の研究テーマについて
 - ③教育シンポジウム兵庫について
 - ④今日的な教育課題
- 教育施策について
- 詳細につきましては、全日教連新聞やHPなどを御覧ください。

